

長岡開府400年記念 Bチーム（長岡市）

江戸から平成そして次の100年へ 受け継ごう宮内の味

【献立】

ごはん、フフ麴柿あげ、梅和え

びっくり肉団子と長岡野菜の味噌汁、左近の桃ゼリー、
牛乳



【献立のねらい】

今年5月、長岡市では、長岡開府 400 年記念献立を実施し、給食を通して開府当時の歴史に触れる機会をもちました。今回はさらに宮内地域に焦点を当てます。宮内地域は、昔から清酒、醤油、味噌の醸造業の街として栄え、食文化の歴史を身近に感じることができる地域です。しかしその一方で、商業施設や宅地の開発が進み、長岡野菜を育てる畑が減少傾向にあります。それでも長岡野菜を作り続ける方々がいることや、江戸時代から今日まで伝統を受け継ぎ、守り続ける地域の現状を知ることで、次の100年へつなぐ地域の未来を考えるようになってほしいと願い、献立を作成しました。

